

税制調査会 審議状況（平成 19 年）

- 19.1.22 ・ 会長互選、平成 19 年度税制改正案の概要等
- 19.2.9 ・ 日本経済の進路と戦略
・ わが国経済社会の構造変化の「実像」について
- 19.2.20 ・ 少子化・高齢化の現状と対応について
・ 格差を巡る現状認識等について
- 19.3.9 ・ 調査分析部会の設置等、部会長互選
・ これまでの税制改革の流れ、主要国の税制改革の動向等について
ー 日本及び主要国における税制改革の背景・視点等を分析
- 19.4.13 ・ 海外調査（ドイツ、オランダ、フランス）報告

・ 「税制改革の背景」（中里委員）
ー 法理論的観点からの租税制度の考え方、現代の税制改革の潮流等について
分析
- 19.4.23 ・ 「これからの社会保障と『持続可能な福祉社会』」（広井良典 千葉大学教授）
ー 成熟化する経済における今後の社会保障制度の方向性について分析

・ 「企業負担と経済活性化の関係について」（加藤委員）
ー 法人企業の公的負担のあり方やそれが経済に与える影響等について、これ
までの研究結果を踏まえて分析

- 19.5.11
 - ・「日本の所得・消費格差と再分配構造」(大竹委員)
 - －所得・消費格差の現状や所得・消費階層別の受益と負担の構造、生涯所得で見た税負担等について分析
 - ・海外調査(シンガポール、韓国)報告
- 19.5.17
 - ・グローバル化する経済の中での税制の課題(IMF 税制専門家からのプレゼンテーション)
- 19.5.22
 - ・「社会保障をめぐる税財源と保険料財源」(土居委員)
 - －社会保障の財源としての税と保険料の役割、税財源に求められる性質等について分析
 - ・「租税原則としての『公平』と『公正』」(吉村委員)
 - －経済取引の高度化・複雑化等の環境変化を踏まえ、公平概念と公正概念の考え方について分析
 - ・公益法人制度改革の現状等